

2024年2月20日

「文部科学大臣盛山正仁君不信任決議案」賛成討論

立憲民主党・無所属 堤かなめ

立憲民主党の堤かなめです。会派を代表いたしまして議題となりました「文部科学大臣盛山正仁君不信任決議案」に賛成の立場から討論します。

盛山大臣は文部科学大臣の任に堪えません。

理由は、大きく三つです。

■一つ目は、宗教法人を所管とする文部科学大臣として、盛山大臣は明らかに不適格である、ということです。

盛山大臣は、2021年の衆議院選挙において、旧統一教会「世界平和統一家庭連合」の関連団体である「世界平和連合」から、公示2日前に、この団体が主催する国政報告会に出席し、推薦状を受け取っていたこと。そして、選挙の支援も熱烈に受けていたことが、報道などにより明らかになりました。

2月7日の衆議院予算委員会で盛山大臣は、推薦状を受け取ったかどうかについて「報道があるまでは正直覚えていなかった。しかし、写真を見てこういうことはあったのかなとうすうす思い出した」と答弁しました。

「推薦確認書」については、「地元の有権者から『集会に来てくれ』と言われて行った。集会の最後に急に『サインしてくれ』と言われたのかもしれない。十分に内容をよく読むことなくサインしたのかもしれない。軽率だった」と答弁しました。

多くの証言や証拠写真がありながら、このように曖昧で無責任な答弁に、国民が納得すると思いますか？旧統一教会の解散命令について、公正に審理を進めるうえで、宗教法人を所管する文部科学大臣と教団との関係に、一点の曇りも許されません。即刻の辞任を求めます。

■二つ目は、盛山大臣と旧統一教会の関係において、宗教行政や教育行政が歪められる大きな懸念があるということです。

立憲民主党は、解散命令請求が出る前から、旧統一教会の被害者救済に取り組んでまいりました。延べ100人の被害者の方々、被害者を支援している弁護士の方々からも約70回、党の会合にお越しいただき、お話を聞いてまいりました。

その結果、やっと文部科学省は解散命令を請求し、その審問がはじまるとこ

ろです。しかし、被害者救済には、もう一つの大きな懸念があります。それは、旧統一教会の財産保全です。解散命令が出る前に財産が隠されて、せっかく解散命令が出たのに賠償金は返ってこないという恐れがあります。果たして、盛山大臣によって、行政が歪められることなく、旧統一教会の財産が保全されるか不安でなりません。皆さまもきっと同じ気持ちだと思います。

旧統一教会の関連団体との「推薦確認書」には、教団側が推進する家庭教育支援法や青少年健全育成基本法の制定に取り組むとの約束や、「LGBT 問題」、同性婚法制化に関しては慎重に扱うと記載があったことも、深刻に受け止めるべきです。宗教行政、教育行政の公平性を担保できない盛山大臣の姿勢は厳しく問われるべきであり、大臣を辞任するのは当然ではないでしょうか。

■三つ目に、盛山大臣は文部科学大臣として、国民の信頼を失ったことです。

昨日の毎日新聞によると、盛山大臣について、「岸田首相は交代させるべきだと思うか」尋ねたところ、「交代させるべきだ」が 78% およそ 8 割。「交代させる必要はない」の 10% を大きく上回りました。

産経・FNN の世論調査でも、盛山大臣について「辞任すべき」が 72.6 パーセント、およそ 7 割。朝日新聞社の世論調査においても、盛山大臣について、「辞任すべきだ」が 66%、やはりおよそ 7 割に上りました。国民の信頼を失った盛山大臣は、このまま国民生活に直結する文部科学行政の責任者である大臣の職に居座り続けるのでしょうか。国家・国民のためを思うなら、即刻辞任すべきです。

■総理へ。盛山大臣の問題については、総理の任命責任も極めて重いと言わざるを得ません。

総理は、わが党の山岸一生議員の質問に対し、「盛山大臣に説明責任を果たしてもらいたい」と、他人事のように、答えられました。しかしながら、NHK の世論調査では、盛山大臣が説明責任を果たしていると思うか尋ねたところ、果たしていない」が 84%、8 割を超えています。一方、「果たしている」はわずか 5%。総理は、国民への説明責任を果たすことができない盛山大臣を、一刻も早く更迭すべきです。

盛山大臣へ。旧統一教会との関係を隠していたという事実は許されるものではありません。「関係ない」と嘘の回答をして文部科学大臣の職を得た、つまり、もし嘘をつかなかつたら大臣になれなかつた、嘘をついて大臣になったということです。「嘘つきはどろぼうのはじまり」ではなく「嘘つきは大臣のはじまり」と、子どもたちに教えるのですか？ 学校教育をつかさどる大臣として、恥ずか

しくないのですか？子どもたちに範を示すためにも、自ら辞任すべきです。

自民党の皆さま、与党の皆さまへ。盛山大臣の不信任案に反対するということは、盛山大臣の政治姿勢やこれまでの言動を容認することです。都合が悪くなれば、嘘をついたり、「記憶にない」と言えば済む、こんなことを許すのですか？今こそ、国民から負託を受けた国会議員としての矜持を示す時です。与党の一員としてではなく、一人の国会議員としてご判断ください。この国のために何が正しいのかご判断ください。政治を、国会を、まっとうな議論の場、言論の府とするためにご判断ください。国民が見ています。

最後に、国民の皆さまへ。政治家は嘘ばかり、信頼できない、もう政治に関わりたくない、と政治から距離をおきたくなる気持ちもよく理解できます。しかし、それでは政治の劣化は止まりません。自民党と旧統一教会の関係と、「国民は増税、自民は脱税」と厳しく指摘されている自民党と裏金の関係は、同じ構図です。裏金工作はいつから誰の指示で行われてきたのか、派閥や議員は何に使ったのか、まったく説明責任が果たされていません。

ごまかし答弁を繰り返す大臣、国会議員を一層し、共にまっとうな政治に変えようではありませんか！自民党を下野させ、新たな政権を発足させようではありませんか！人へ、未来へ、まっとうな政治へ。私たち立憲民主党と共に、もっと良い未来を一緒に作りましょう！

以上で会派を代表しての賛成討論を終わります。ありがとうございました！

(2505字)